

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	荒木 浩一
評価者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	中山 隆志

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価							
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性						
					(年度)	(年度)												
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000	8,000	B	継続					
							2	コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	56,000	38,836	B	継続					
							3	教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	6,000	5,460	B	継続					
	課題2 石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (R7)	4,182 (H30)	4,134 (R1)	1	東日本誘客推進事業費	首都圏観光客	35,500	35,500	B	見直し					
							3大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	8,919 (H30)	8,793 (R1)	1	西日本誘客推進事業費	関西・中京圏観光客	28,700	28,683	B	見直し
												2	いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	首都圏・関西圏観光客	6,000	5,993	B	拡大
		観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000	8,000	B	継続					
							再掲	東日本誘客推進事業費	観光客全般	35,500	35,500	B	継続					
							2	プロスポーツチーム連携誘客推進事業費	観光客全般	4,000	3,745	B	継続					
							3	誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000	15,000	B	継続					
課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,915 (H30)	24,899 (R1)	1	JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500	11,500	B	継続						

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほとと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度 H28	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令・計画等	ほとと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 六田 雄介 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほとと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほとと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 8,000千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】ほとと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
 - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - (2)大手企業等での出前型観光物産展の開催
 - (3)石川県観光ブランドプロデューサー活動費 など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899	

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算		51,000	10,000	6,500	8,000
	決算		51,000	10,000	6,500	8,000
一般財源	予算		0	0	0	0
	決算		0	0	0	0
事業費累計		0	51,000	61,000	67,500	75,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	R元年度は首都圏百貨店での観光物産展の開催を、前年度の2か所から4か所に拡大するなどの国内誘客プロモーション活動を行った結果、観光入込客数は、平成26年比115.2%の約24,899千人と開業前を大きく上回る水準を維持している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、百貨店や大手企業等での観光物産展による誘客プロモーションなど、引き続き、(公社)石川県観光連盟が実施する事業に対し必要な資金の貸し付けを行う。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作 組 織 誘客戦略課	評 価 B
成 職・氏名 主事 越村 日咲	
者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943	

<事業の背景及び目的>
県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外
支給条件	人数 県外参加者100人以上
	規模 北陸地域(石川県、富山県及び福井県)を超える規模のもの
	会期 連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
	その他 以下に該当するコンベンションは、補助対象外。 ①宗教活動、政治活動を目的とするもの。 ②営利を目的とするもの。 ③公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるもの。 ④国又は地方公共団体が主催、或いは運営に關与するもの。 ⑤国又は地方公共団体が補助金等の交付を受けるもの。ただし、県内の自治体がこの要項と同様の趣旨で交付する補助金を除く。 ⑥開催順序が予め定められている持ち回りのもの。 ⑦本県で連続開催されるもの。 ⑧その他補助金の交付が適当でないと認められるもの。
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	①基本補助(下記別表参照) ②バス補助: バス借上げ費用の1/3(上限100万円) ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助: 1,000円/人(上限50万円) ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。 ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。

県外参加人数(人)			国内			国際		
100 ~	199	8	100	2,100 ~	2,199	168		
200 ~	299	16	140	2,200 ~	2,299	176		
300 ~	399	24	180	2,300 ~	2,399	184		
400 ~	499	32	220	2,400 ~	2,499	192		
500 ~	599	40	260	2,500 ~	2,599	200		
600 ~	699	48	300	2,600 ~	2,699	208		
700 ~	799	56	340	2,700 ~	2,799	216		
800 ~	899	64	380	2,800 ~	2,899	224		
900 ~	999	72	420	2,900 ~	2,999	232		
1,000 ~	1,099	80	460	3,000 ~	3,099	240		
1,100 ~	1,199	88	500	3,100 ~	3,199	248		
1,200 ~	1,299	96	540	3,200 ~	3,299	256		
1,300 ~	1,399	104	580	3,300 ~	3,399	264		
1,400 ~	1,499	112	620	3,400 ~	3,499	272		
1,500 ~	1,599	120	660	3,500 ~	3,599	280		
1,600 ~	1,699	128	700	3,600 ~	3,699	288		
1,700 ~	1,799	136	(上限)	3,700 ~	3,799	296		
1,800 ~	1,899	144		3,800 ~	3,899	304		
1,900 ~	1,999	152		3,900 ~	3,999	312		
2,000 ~	2,099	160		4,000 ~	4,099	320		

(単位: 万円)

(上限)

※収支が一致する額が交付上限

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899	

事業費						
(単位: 千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算			45,644	48,415	56,000
	決算			44,833	48,255	38,836
一般財源	予算			45,644	48,415	56,000
	決算			44,833	48,255	38,836
事業費累計		0	0	44,833	93,088	131,924

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和元年度は、1千人以上の全国大会等が28件あり、約17万4千人が参加するなど、北陸新幹線金沢開業前(26件、約15万3千人)を上回った。また、コンベンション誘致推進事業費補助金の交付件数は65件であり、全国大会の誘致および県外客の誘客に一定の成果があった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、県内で開催されるコンベンションの誘致を図るため、(公財)金沢コンベンションビューローと連携したPRの実施など誘致活動に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度 H15	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課 成 職・氏名 専門員 松林 憲吾 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016	

<事業の背景及び目的>

将来の石川ファン拡大、平日の宿泊施設・観光施設の利用増につながる取組みとして、教育旅行の誘致を図ってきており、近年、北陸新幹線の金沢開業及び東日本誘客推進室による積極的な学校訪問により、近年、首都圏を中心に本県を訪れる教育旅行が増加している中、新幹線の県内全線開業も見据え、さらなる教育旅行の受入れ増に向け、受入体制(宿泊施設・教育プログラム)の充実を図る。

- <事業の概要>
- (1) 誘致活動
- ・三大都市圏の学校、旅行会社の訪問(R1:学校訪問208件、旅行会社等訪問82件)
 - ・現地視察会の開催
 - ・教育旅行誘致資料の作成
 - ・北陸三県で連携した誘致活動の実施(北陸三県修学旅行説明会の開催等)
- (2) 受入体制の強化
- ① 宿泊施設の充実
- ・宿泊施設の研修会の開催(開催場所:県女性センター)
- ② 教育プログラムの充実
- ・首都圏大手旅行会社教育旅行担当者による現地視察の実施(R1は新型コロナウイルスの影響でとりやめ)
- (3) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置
- 北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
指標	観光入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899		

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	2,000	2,000	4,000	7,000	6,000
	決算	2,000	2,000	4,000	7,000	5,460
一般	予算	2,000	2,000	2,000	3,500	3,000
	決算	2,000	2,000	2,000	3,500	2,730
事業費累計		13,800	15,800	19,800	26,800	32,260

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	令和元年度の修学旅行の受入れ実績については、3大都市圏から68校が来県し、延べ宿泊人数は開業前に比べ約1.8倍の約1万4千人となっており、成果を上げている。 また、宿泊施設等の担当者(23人)を対象とした研修会を実施し、修学旅行受入体制の充実を図った。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線の県内全線開業も見据え、さらなる教育旅行の受入れ増のため、引き続き学校訪問等による誘致活動を展開するとともに、県内事業者等を対象とした研修会の開催等により受入体制を強化する。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東日本誘客推進事業費	事業開始年度 H22	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作 組 織 誘客戦略課
成 職・氏名 専門員 竹中 康将
者 電話番号 076 - 225 - 1543 内線 3947

<事業の背景及び目的>
 新幹線開業効果を最大限に引き出し、更なる上積みを図るため、JRと北陸三県連携による通年の誘客キャンペーンや北陸新幹線開業5周年キャンペーンに合わせた大手私鉄グループや大手旅行会社との連携強化、旅行意欲が高い若い女性層やシニア層などターゲットを絞った誘客に取り組み、潜在需要の更なる掘り起しとリピーターの獲得につなげる。
 また、新幹線開業により増加する東北地方からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JRと北陸三県が連携した通年キャンペーンに合わせて、東北地方においても四季を通じた誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
【首都圏】
 (1) 大手私鉄グループ旅行会社等とのタイアップによる誘客推進
 ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、グループ施設での観光PRイベント、電車内広告など(東武鉄道(東武トップツアーズ)・東京急行電鉄(東急トラベルサロン))
 ・東京メトロ車両ドア上モニターでの観光PR映像の放映
 (2) 女性をターゲットとした誘客の推進
 ・食(発酵食、スイーツ等)、温泉、美容など、本県ならではの女性向け観光素材を活用した旅行商品の造成
 ・女性向け情報誌等を活用した情報発信
 (3) アクティブシニアをターゲットとした誘客の推進
 ・JR東日本グループや大手旅行会社と連携したシニア向けの旅行商品の造成や会員誌での情報発信
 (4) 「ふるさと祭り東京2020」への出展
 ・東京ドームにて開催される「食」と「祭り」をメインとしたイベント(R2年1月)での観光PR食をメインとしたブース出展、祭りの披露 など
 (5) 長野からの誘客の強化
 ・長野県内の大手旅行会社店舗での販促キャンペーン
 ・長野駅での石川観光PRイベント
- 【東北地方】**
 (6) JR東日本グループとのタイアップによる誘客促進
 ・旅行会社店頭での販促キャンペーン、電車内広告 など
 (7) 福島県からの誘客強化
 ・地元情報雑誌における特集記事掲載
 (8) 直通新幹線の運行継続に向けた取り組みの実施
 ・直通新幹線到着時のお出迎え、日本郵便と連携した石川県及び宮城県の主要郵便局における直通新幹線を活用した旅行商品の販売促進 など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	首都圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	7,000	4,542	4,269	4,135	4,182	4,134

事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算	28,300	21,300	34,185	37,377	35,500
	決算	28,300	21,300	34,066	37,315	35,500
一般	予算	18,300	1,500	26,243	18,689	17,750
	決算	18,300	1,500	26,181	18,658	17,750
財源	決算	18,300	1,500	26,181	18,658	17,750
事業費累計	101,250	122,550	156,616	193,931	229,431	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	大手私鉄グループの旅行会社と連携した誘客キャンペーンや、女性・アクティブシニア等のターゲットを絞った誘客プロモーションなど、最近の旅行トレンド等も踏まえた誘客対策を実施した結果、首都圏からの入込客数は、平成26年比約170.9%の約4,134千人と開業前を大きく上回る水準を維持している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	更なる誘客の強化を図るため、大手私鉄及び各旅行会社との連携や、女子旅・アクティブシニア等のターゲットを絞った情報発信を引き続き実施する。また、東北地方の誘客対策として、新たにウェブ広告・SNSを活用した情報発信を実施する。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客推進事業費	事業開始年度 H26	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主任主事 北本 聡 者 電話番号 076 - 225 - 1544 内線 3950

<事業の背景及び目的>
北陸新幹線開業4年目(平成30年)も、関西・中京圏からの観光入り込み客数は開業前を上回っているものの、2022年(令和4年)度末の県内全線開業も見据えて、更なる上積みを図る必要がある。
また、関西・中京圏は首都圏と比べ距離が近く利便性が高いため、職場旅行などの団体旅行やマイカーを利用する旅行者の割合が高いことから、大手旅行会社と連携し、加賀・能登を中心に団体旅行の誘致強化を図るとともに、マイカー利用者に対する誘客の強化を図る。

- <事業の概要>
- (1) 大手旅行会社と連携した誘客促進
- ① 個人旅行の誘客強化
- ・JR西日本グループ(日本旅行)と連携した誘客推進
 - 旅行商品造成・販売、主要店舗にパンフレットコーナー設置
 - 日本旅行旗艦店に「石川デスク」を設置(年2回、各1週間)
 - 郊外型ショッピングセンター(関西エリア)における販促イベント
 - ・大手私鉄グループと連携した誘客推進
 - (連携先: 阪急電鉄、名古屋鉄道、京阪電鉄、阪神電鉄、近畿日本鉄道)
 - 車内中吊り・主要駅構内広告掲載
 - 主要店舗における店頭販促、新たな旅行商品造成(阪急交通社、名鉄観光サービス、近畿日本ツーリスト)
- ② 職場旅行等の団体旅行の誘客強化
- ・大手旅行会社連携事業(連携先: JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、名鉄観光サービス)
 - 団体旅行商品の造成(専用特典の提供)、団体旅行セールスマン招聘など
 - 旅行マインドが高まる「周年企業」に対し、旅行会社と連携し、記念旅行を誘致
- (2) マイカー利用者をターゲットとした情報発信
- ・東海北陸道沿線連携事業(連携先: 岐阜県、富山県、NEXCO中日本など)
 - 東海北陸道SAや、郊外大型ショッピングセンター(中京エリア)におけるPR、名古屋市内イベントへの出展、旅行会社などへのPR等
 - ・大手自動車販売会社連携事業
 - 販売店店頭へのパンフレット配架、顧客向けイベントなど
 - ・NEXCO・JAFとの連携による誘客の強化
 - ETC割引&宿泊セット商品を造成し、JAF会員向けに販促
- (3) イベントを活用した情報発信
- ・日本最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパンin大阪」への出展
 - ・百貨店等における観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - ・石川香川観光パートナーシップ協定に基づく合同PRイベント(大阪駅)の実施

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	13,000	9,259	9,011	8,877	8,919	8,793	

事業費						
(単位: 千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	8,000	10,500	21,000	20,500	28,700
	決算	7,646	10,500	21,000	20,500	28,683
一般財源	予算	0	0	10,500	10,250	14,350
	決算	0	0	10,500	10,250	14,342
事業費累計		10,646	21,146	42,146	62,646	91,329

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	JRや大手私鉄グループの旅行会社と連携した誘客キャンペーンや、「周年企業」の記念旅行等団体旅行の誘客強化、日本最大の旅行博出展による観光PRなどを実施した結果、関西・中京圏からの入込客数については、それぞれ、ほぼ前年並みの約2,661千人、約1,998千人となり、開業前の平成26年比ではそれぞれ約105.5%、約101.8%となった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	北陸新幹線県内全線開業も見据え、関西・中京圏からの更なる誘客の強化を図るため、JRと北陸三県等が連携した誘客キャンペーンに加え、新たに、JRが実施している北陸新幹線開業5周年キャンペーンに呼応した関西圏主要駅での波状的な誘客イベントの開催や、農協・信金等の大型団体旅行の誘致を強化するなど、関西・中京圏の旅行特性等も踏まえた誘客対策に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度 R1	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 竹中 康将 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線金沢開業を機に高まった本県への旅行ニーズに対応するため、大手旅行会社と連携し、首都圏・関西圏の主要店舗の窓口に、本県への旅の魅力を紹介する担当者を「いしかわ観光コンシェルジュ」として配置し、店舗における本県観光情報の恒常的な発信強化と本県への誘客拡大に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) 事業内容
- ・本県観光の積極的な情報発信と、旅行商品販売等による積極的な送客
 - ・石川デスク(観光情報コーナー)の設置による通年PR及び、定期的な店頭PRイベントの実施
 - ・コンシェルジュを対象とした本県視察研修の実施
 - ・コンシェルジュによる社内研修の開催(他の販売員への水平展開)
 - ・定期的な実績報告と、トレンドを踏まえた本県施策への提言
- (2) 実施店舗
- ・首都圏7店舗、関西圏4店舗
- (3) 配置人数
- ・各店舗1人 計11人

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
13,000	9,259	9,011	8,877	8,919	8,793	

事業費					
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算				6,000
	決算				5,993
一般	予算				3,000
財源	決算				2,997
事業費累計	0	0	0	0	5,993

評価	
項目	評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B コンシェルジュ配置店舗への来店者からは、「石川デスクの情報をきっかけに石川県への旅行を決めた」という声があるなど、本県観光情報の充実について評価をいただいている。 また、コンシェルジュを対象とした本県への視察研修(4社7名参加)や各店舗独自の社内研修(全店舗)の実施により、販売員の本県への理解が深まり、店舗独自の石川県PR装飾や、来店客への本県観光情報の積極的PRにつながっている。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	拡大 R2年度はコンシェルジュ設置店舗を20店に倍増するとともに、各店舗での送客キャンペーン実施等の活動強化を図ることにより、より強力に本県観光情報の発信を図っていく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 戦略的インターネット活用誘客推進事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作組	織	誘客戦略課		
成職	氏名	専門員 松林 憲吾		
者電	話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943		

<事業の背景及び目的>
 近年、旅行の目的地を決める際、インターネットを参考にする旅行者が増えており(H29:57.5%)、その手配についても、主にインターネットで個人手配する傾向が全国的に強まっていることから、ターゲットエリアを平成30年度に実施した首都圏から三大都市圏に拡大するとともに、各エリアに強みを持つ旅行会社の予約サイトと連携したプロモーションを行う。
 さらに、本プロモーションで連携する旅行会社のSNS会員等に向け、石川の旬の情報を発信することにより、旅行への関心が高い層から誘客を図る。

- <事業の概要>**
- (1) インターネット広告等を活用した誘客プロモーション
- ・検索サイト(Google)、SNS(インスタグラム)での広告掲載
 - ・本県の旬の観光情報を伝え、旅行の予約に繋がるキャンペーンサイトの制作・掲出
 - ・興味・関心を持った方が、そのまま交通・宿泊の申込みができるよう大手ネット専門の予約サイト、大手旅行会社のウェブサイトへリンク
- (2) 旅行会社のSNS等を活用した誘客プロモーション
- ・旅行会社のSNS等から本県の旬の観光情報を発信
 - ・旅行会社とタイアップした誘客促進キャンペーンの実施

これまでの見直し状況
 H30: 東日本誘客促進事業においてインターネット広告を活用した観光PRを実施
 R1: ターゲットエリアを首都圏から三大都市圏に拡大、大手旅行予約サイト連携誘客促進事業を統合し、連携する大手旅行予約サイトを楽天トラベルを含む7社に拡大

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	13,000	9,259	9,011	8,877	8,919	8,793	

事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
事業費	予算			12,000	11,000	
	決算			12,000	11,000	
一般	予算			6,000	5,500	
財源	決算			6,000	5,500	
事業費累計	0	0	0	12,000	23,000	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	三大都市圏在住の温泉や食など本県ならではの魅力に関心が高い若年層女性をターゲットに、SNS等のインターネット広告を活用した誘客対策を実施した結果、三大都市圏からの入込客数はほぼ前年並みの約8,793千人と開業効果が持続しており、平成26年比約127.3%と開業前を大きく上回った。 また、各旅行会社におけるインターネットでの本県旅行商品の販売実績も概ね増加傾向にある。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	三大都市圏からの更なる誘客の強化を図るため、引き続き、SNS等のインターネット広告のほか、SNS等における情報発信力が特に強いいわゆる「インフルエンサー」を活用しながら、旅行への関心が高い若年層をターゲットとした誘客対策に取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 プロスポーツチーム連携誘客推進事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016

作	組	織	誘客戦略課
成	職・氏名	主事 池田 章紘	
者	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3945	

<事業の背景及び目的>
 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツへの関心が高まる中、本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

<事業の概要>
 (1) 事業内容
 ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツ3チームが行う観光PRへの支援を実施

(2) 連携先(県内プロスポーツ3チーム)
 ・ツエーゲン金沢(サッカー)
 ・石川ミリオンスタース(野球)
 ・金沢武士団(バスケットボール)

(3) PR方法
 ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出
 ・観光PRブースの設置(チームスタッフによる観光パンフレットの配布等) など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算			4,080	4,000	4,000
	決算			4,079	3,983	3,745
一般	予算			2,040	2,000	2,000
	決算			2,040	1,992	1,873
財源	決算			2,040	1,992	1,873
事業費累計		0	0	4,079	8,062	11,807
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	三大都市圏等でのアウェイゲーム(ツエーゲン金沢の5試合、石川ミリオンスタースの9試合、金沢武士団の16試合)でパンフレットやノベルティ計3万5千部を配布することにより、多くの来場者に石川の観光をPRし、積極的な情報発信を図った。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県間とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県への誘客促進を図るため、引き続き、アウェイゲームでの観光パンフレットの配布など県内プロスポーツチームと連携した三大都市圏等における観光PRに取り組む。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度
	根拠法令	ほっと石川観光プラン2016	
	計画等		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 越村 日咲			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

<事業の背景及び目的>
 石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏等の重点エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
 - (2) ホームページを活用した情報発信
 - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
 - (3) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
 - (4) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況

施策	<small>県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大</small>	評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信		
指標	観光入り込み客数	単位	千人
目標値	現状値		
令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
30,000	25,018	24,588	24,753
	平成30年度	令和元年度	
	24,915	24,899	

事業費

	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算			15,000	15,000	15,000
	決算			15,000	15,000	15,000
一般	予算			15,000	15,000	15,000
	決算			15,000	15,000	15,000
事業費累計		0	0	15,000	30,000	45,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	令和元年度は、県内外のイベント等に116回出演し、観光PRに取り組んだ。 また、観光誘客動画「いしかわ百万石物語～ひやくまんさん小唄～」の普及を図るため、園児による「ひやくまんさん小唄」発表会を実施した。 ※令和元年度 金沢エリア3園、能登エリア2園、加賀エリア2園、白山エリア1園 計8園
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	本県への誘客促進を図るため、引き続き、「ひやくまんさん」を活用して県内外での積極的な観光PRに取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016				成 職・氏名
						者 電話番号	

<事業の背景及び目的>
北陸新幹線の開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール
平成31年 4月～令和元年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
令和元年12月～令和2年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ① 情報発信の強化
 - ・イベントにおける出向宣伝
 - ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
 - ・北陸3県イラストマップの作成
 - ② 旅行会社施策の強化
 - ・大手旅行会社のプロジェクトチームによる商品開発
 - ・旅行会社店頭説明用の観光素材資料集の作成
 - ・旅行会社店頭社員現地研修の実施
 - ・旅行会社店頭販促キャンペーンの実施

施策・課題の状況						
施策	国民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	30,000	25,018	24,588	24,753	24,915	24,899

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算			11,500	11,500	11,500
	決算			11,500	11,500	11,500
一般	予算			5,750	5,750	5,750
	決算			5,750	5,750	5,750
事業費累計		0	0	11,500	23,000	34,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	JRと北陸三県等が連携した年間を通じたキャンペーンや、北陸新幹線開業5周年キャンペーンと連携し国内誘客プロモーション活動を行った結果、観光入込客数は、平成26年比115.2%の約24,899千人と開業前を大きく上回る水準を維持している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	2023年3月の北陸新幹線敦賀延伸をはじめ、今後北陸にとって節目となるトピックが続く中で、開業効果を持続・発展させていくため、引き続き、JRと北陸三県等が連携した通年キャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。